

情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など

information

市民フォーラムおおさか 交流カフェでみなさんをお待ちしています☆

大阪に避難されている皆さまが、少しでもホッとしていただける機会をたくさんつくりたいと思い、みなさんの意見を聞きながらいっしょに作っていただけるようなサロンを開くことになりました。年齢・性別・そのほかすべてにまきりはありません。まずは一度、のぞいてみてください(*^_^*)
開催時間内であれば何時にお越しいただいてもかまいません。
出入り自由☆お一人での参加、お子様連れも大歓迎☆

日時	11月10日(土)	12月9日(日)
	午後1時30分～午後3時30分	午後1時30分～午後3時30分
会場	SBBCコンシューマーファイナンス株式会社 プロミス心斎橋お客様サービスプラザ	市民交流スペース 「みつや交流亭」
住所	中央区心斎橋筋2丁目6-9 心斎橋福穂ビル1F	淀川区三津屋1丁目4-29

会場場所等の詳細についてはお問い合わせください☆
当日は、アロマやハンドケア、その他リラックスできるメニューをご用意しています！
ハーブティーをいただきながら自由に語り合います！
(全て無料です)
～芋煮de交流～大募集！
12月9日(日)12時頃から、会場で芋煮を一緒に作ってくださる方を募集しています！
ぜひ、力を貸してください！詳細は下記事務局までお問い合わせください☆
問合せ 市民フォーラムおおさか 事務局 川口・河崎・荒野
大阪市ボランティア情報センター内 ☎:06-6765-4041

東北震災支援復興チャリティライブへご招待

このたび、全人権ヒューマンライトチャイルド ほか3団体様から大阪市へ、東日本大震災の避難者のご家庭を対象として「東北震災支援復興チャリティライブ」ご招待のお申し出がありました。参加ご希望の方は下記までお申し込みください。

日時： 11月25日(日) 午後1時開演(午後7時終了予定)
※時間中いつご来場いただいても結構です

場所： 城東区民ホール(城東区中央1-3-6)
地下鉄「蒲生四丁目」駅1番出口下車徒歩8分
JR・京阪「京橋」下車徒歩12分

内容： 地元アーティストによる、民謡などのライブ演奏、河内音頭、ショーダンスの舞台公演。また、場内では、復興支援のためのチャリティバザーも開催されています。

対象： 東日本大震災により県外避難をされている方

参加費： 無料

締切： 11月14日

申込 大阪市ボランティア情報センター 担当:修田
☎:06-6765-4041

避難ママの元気アップセミナー ～避難ママのための夫・家族とのコミュニケーション講座～

震災以降、子どもを守るという使命のパートナーである夫や家族との間に、溝ができてしまっている話をよく耳にします。夫や家族に「避難すること」を理解してもらえないことほど辛いものはありません。夫や家族との関係で悩んでいる避難ママ同士、専門家も交えて一緒におしゃべりして、夫や家族とのコミュニケーションのヒントを学びましょう！

回	日程	時間	テーマ	講師(肩書き)
1	11月15日(木曜日)	13:30～16:30	避難ママの交流会 ～夫との関係について話そう～ 夫とのコミュニケーション ～男性心理を知ろう～	ファシリテーター 岸上 真巳(大阪市女性協会) 吉岡 俊介(産業カウンセラー)
2	12月8日(土曜日)	13:30～16:30	夫・家族とのコミュニケーション ～意見の違いは怖くない～	瀧井 智美(ワークライフバランスコンサルタント) ほか

対象： 東日本大震災により関西に避難している女性 一時保育：あり

締切： 各回一週間前 定員： 30人

申込： HP、FAX、はがき、電話にて 会場： クレオ大阪中央 会議室2

主催 大阪市立男女共同参画センター中央館・避難ママのための元気アッププロジェクト
☎:06-6770-7200 FAX:06-6770-7705 ※詳細はチラシ参照

障がいのある人と一緒に たこ焼きパーティーをしませんか？

肢体や視覚に障がいのある人と、会場まで一緒に電車に乗ったり、その道中でお買い物をしたり、料理をしたり、日常生活の中にどのようなバリアがあるか、障がいのある人たちの生活を知ってもらい、気遣いや思いやりを感じてもらおうことを目的としたプログラムです。

日時： 12月16日(日) 午前9時30分集合～午後4時解散(予定)

集合： 大阪市ボランティア情報センター(天王寺区東高津町12-10)
地下鉄「谷町九丁目」駅徒歩10分
近鉄「大阪上本町」駅徒歩5分

対象： 小学3年生～中学3年生

内容： 参加者、障がいのあるスタッフ、学生スタッフで1つのグループとなり、西成区にある大阪市社会福祉研修・情報センターまでまち歩きをし、バラエティに富んだたこ焼きを作って食べます♪
集合→まち歩き→お買い物→クッキング→振り返り＆お話し→まち歩き→解散

参加費： 県外避難されている方は無料でご招待させていただきます♪

申込： 11月22日(木)までに、電話、FAX、Eメールにてお申し込みください

問合せ： 大阪市ボランティア情報センター(桜木・溝渕・川口)
☎:06-6765-4041

ご質問、ご連絡等は...

IMONIKAI バックナンバーもお送りできますのでご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618

《利用時間》
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00

《休館日》
日曜・祝日・国民の休日及び
年末年始(12月29日～1月3日)
E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

東北と大阪を繋ぐ情報紙

第17号：平成24年10月

IMONIKAI
いもにかい

発行 社会福祉法人大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア情報センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター内
電話番号：06-6765-4041
FAX:06-6765-5618

協力 大阪弁護士会
大阪市各区社会福祉協議会

今年もやります!! 東北⇔関西 ポジティブ生活文化交流祭

11月23日(金・祝)、東日本大震災により被災された障害者を支援するイベント「ずーっと続けていく被災障害者支援 東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭」が昨年引き続き今年も開催されます。被災した障害者、関西での県外避難生活を余儀なくされている人、それらを支える支援者が一緒になって、<⇔>双方向に繋がりをもち、創っていくお祭りです。

子どもとおとなポジティブげんきまつり

子どもとおとなと一緒に元気になれる!子どもとおとながおしゃべりしたり、創ったり、チャレンジしたり。みんなで一緒に楽しめるプログラムが開催されます。



↑昨年のいも煮づくり↓



東北⇔関西 次世代<真っ向勝負>プロジェクト

「東北⇔関西」を担う次世代が集結し、自分たちができることを表現・発信するプロジェクト。当日は昨年と同様に東北の郷土料理「いも煮」を作って来場者に振る舞います。

11月23日(金・祝) 11:00～17:00

日時： 長居公園(自由広場)
場所： 地下鉄「長居」駅3番出口すぐ・JR長居駅徒歩5分
※自転車置き場も会場内に設置しております

主催：東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭実行委員会



その他、様々な出展・交流ブースやチャリティーバザーもあります。またお仕事を探されている避難者向けに介護・福祉関係の就労相談を受けるブースも予定しています。どうぞお気軽にお越しください。

11月のCafe IMONIKAIのご案内

日時： 11月28日(水)
10:00～15:00
※12:00～13:00はお昼休みとなります。昼食は各自でご用意ください。

午後はボランティアが淹れたてのコーヒーを用意します。コーヒーを片手にお話の花を咲かせましょう!

場所： 大阪市立社会福祉センター(天王寺区東高津町12-10)
地下鉄「谷町九丁目」駅、近鉄「大阪上本町」駅11番出口

申込： お電話またはEメールにてお申し込みください。Eメールでのお申し込みには、お名前、参加人数をご明記ください。
☎:06-6765-4041(担当:修田・桜木)
E-mail: vicpc01@osakacity-vnet.or.jp



9月のCafe IMONIKAIでは...



9月26日(水)、先月に引き続き大阪市立社会福祉センターにて開催されました。今回からは市内のコーヒESHヨップにご協力をいただき、4人の参加者は淹れたてのコーヒーを飲みながら午後のひとときをリラックスして過ごされました。

市民フォーラムおおさかの災害支援活動の取り組み



市民フォーラムマスコット
キャラクター ココくん

「市民フォーラムおおさか」は地域コミュニティのこれからを考えていく、市民活動団体です。地域住民同士の対話を通じて地域課題を発見・解決していく「コミュニティ・コミュニケーション」を目指し、現在は「防災・減災」を重点テーマに、災害に強いコミュニティづくりに取り組んでいます。そんな市民フォーラムおおさかの被災地支援活動、県外避難者支援活動をご紹介します。

サロンを開設 あべのベルタ

震災により大阪に避難されている方々が、自由に集い、語らい、少しでもほっとしていただける機会をつくりたいと考え、交流カフェ(サロン)を開くことになりました。その第1回目ということで、10月7日(日)阿倍野区にある「あべのベルタ」のサロンスペースにて開催しました。

初めての開催とあって、スタッフも参加者の皆さんも少々緊張気味でしたが、絵本の読み聞かせボランティアグループ・アクビス『おはなしのへや』の皆さんによる紙芝居、NPO法人『海・空・太陽』のアロマセラピストによるハンドケアマッサージや、何種類ものハーブをブレンドしたオリジナルティーをいただいているうちに、すっかり皆さん、リラックスモードに…。震災時や各地に避難されてからの辛いお話だけではなく、プライベートな恋バナまで、本当にいろいろお話していただき、あつという間の2時間でした。

今回初めての開催ということで、まだまだ手探りの状態ではありますが、ご参加していただく皆さんが自由に集まり、気持ちよくお話してもらおう場として、交流カフェを運営していきたいと考えています!次回は、11月10日(土)、場所は御堂筋沿いにある、『プロミス心斎橋お客様サービスプラザ』にて第2回交流カフェを開催する予定です。(荒野)



いわきーおおさか交流バス

今回の活動場所は福島県いわき市にある「高久第一応急仮設住宅」。この仮設住宅には原発被害だけではなく、震災による津波被害、家屋倒壊などさまざまな理由で我が家を失った189世帯の方々がお住まいになっています。そんな現地の皆さんに大阪の元気を届けたいと、関西風の「うどん」、アロマの香りで癒しの効果抜群「ハンドマッサージ」、子どもに大人気「ヨーヨー釣り」を提供してきました。



性別も年齢もボランティア経験もさまざまな20人でしたが、「現地で活動をしたい!」という思いはみんな一緒。まだまだ強い日差しの下、額に汗しながら協力して準備をすすめました。その甲斐あってか今回、用意した150人分のうどんもすべて完売。ハンドマッサージもヨーヨー釣りも大好評でした☆

現地の皆さんの言葉に耳を傾けると、「安定剤がないと眠れない」「自宅に戻っても誰もいないから、仮設に住んでいる」など震災後癒えぬ厳しい現実をつきつけられるものや「またいつでも来てほしい」「また会いましょう」といった、人と人とのつながりの大切さを改めて感じさせられる言葉などさまざまないただきました。

市民フォーラムおおさかでは、いわき市高久第一応急仮設住宅との関わり方を今回限りの単発のものではなく「長期的」なものにしていきたいと考えています。また、参加者による振り返りの中で、いわき市への再訪も含む支援のあり方を検討していく予定です。(河崎)

市民フォーラムおおさか

市民フォーラムで一緒にコミュニティを考えませんか?

交流サロンを通じて繋がりを深めませんか?詳細は情報掲示板をご覧ください!



住吉区アクションプラン子ども部会 「震災から学ぶ!」～その時あなたは何かができますか～

10月20日(土)、住吉区民センターにて、住吉区アクションプラン推進委員会・住吉区アクションプラン子ども部会が主催した『震災から学ぶ!』～その時あなたは何かができますか～』という、市民へ防災・減災を訴えかける講演会が開かれ、福島県南相馬市から県外避難され、現在はお隣の東住吉区にご家族5人でお住まいの加藤清恵さんが、ご自身の被災体験をお話しされました。



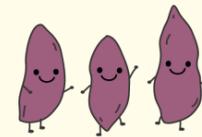
「自分の話が何か役に立てば」とおっしゃっていた加藤さん。震災が起きたときの南相馬市の状況、非常持ち出し袋の中身を備えていなかったこと、情報が錯綜して振り回されたこと、避難所という仕切りのない場所で過ごしたことなど、実際に体験することで気づいたこととお話いただくことで、今後大阪でも起こりうる災害について改めて考える機会となりました。涙を滲ませながら話していただいた、ふるさとを離れるときはち切れそうな思いは、来場者の皆さんの胸を強く打ちました。

加藤さんご家族には3人のお子さんがいらっしゃいます。「避難先を転々としているとき、子どもたちの『次はどこに避難するの?』という言葉が胸に痛かった」「震災で一番大変な思いをしているのは子どもたち」という言葉がとても印象的でした。講演会では長女の香澄さんが、大阪へ来てから続けているピアノを先生との連弾を披露。「いつも何度でも」「となりのトトロ」の2曲を楽しく伸びやかに弾いてくれました。

震災・県外避難という大きな出来事を経験し、それでも笑顔を決すことのない加藤さんご家族。今回お話しいただいたことを胸に刻み、もしものときに自分に何ができるのか、何をすべきかを、改めて確認しておきたいと思いました。

方言の交差点 「お芋さん」と「飴ちゃん」

ー東北弁と大阪弁が出会う場所ー



秋田県大館市では「アメッコ市」という行事もあり、縁起物になっています。

秋は実りの季節です。食べ物が美味しい季節なので、献立を考えるのも自然と楽しくなります。「お揚げさん」でお味噌汁を作って、「お豆さん」のご飯を炊いて、「お茄子さん」は焼いて、「お芋さん」をふかして…。そう、関西では食べ物のことを呼ぶ時、「お〇〇さん」と言います。でも、何でもかんでもそう呼ぶわけではなさそうで、「お大根さん」「お肉さん」というのは聞いたことがありません。

私は、共通語にくらべて大阪は「～さん」の使い方が自由なのではないかと考えています。「作者さん」「自衛隊さん」のような言い方を耳にしますし、学生が先生を「〇〇さん」と呼ぶ割合は東京より多いという調査結果もあります。親しみを感じる先生のことを「〇〇さん」と呼ぶようです。

大阪では「飴ちゃん」も有名ですね。なぜ「飴さん」ではないのでしょうか?なかなか難しい問題ですが、ヒントは東北方言にありそうです。東北では飴玉を「飴っこ」と言いますよね。東北方言の「～こ」は小さい物とか可愛い物に付きます。小さい花は「花っこ」。子どもの手足は「手っこ」「足っこ」。仔犬は「犬っこ」。

おそらく大阪の人たちが「飴さん」ではなく「飴ちゃん」と呼ぶのは、飴玉が小さくてきれいな色がついていて可愛いからかもしれないですね。使う方言は違っても、飴玉に対する思いは東北も大阪も共通しているようです。

(追手門学院大学講師 櫛引祐希子)

【方言募集】ぜひ、ご連絡ください。

住所:〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院大学 櫛引祐希子

E-mail:yukushib@res.otemon.ac.jp